

日々の祈り

2020年12月28日(月)~2021年1月2日(土)
宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるままに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・一年の守りと祝福を感謝。また新たに与えられる一年、神さまの御心に適った歩みが出来るように。
- ・兄弟姉妹が共に祈り合い、励まし合い、主のもとで一致して歩いて行けるように。
- ・宮崎の人々、日本の人々、世界の人々が、イエスさまの救いに与り、神さまのご支配の内に生きることが出来るように。

28日(月)

ルカによる福音書 11章 20~22節

しかし、わたしが神の指で悪霊を追い出しているのであれば、神の国はあなたたちのところに来ているのだ。

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。イエスさまはわたしたちのために神の力によってサタンと戦い、闇の力を打ち破り、勝利を収めて下さいました。十字架と復活の御業によって、その勝利は決定しました。すでに、わたしたちは神さまのご支配の下に置かれています。神の国はわたしたちのところに来ています。だからわたしたちは、終わりの日まで続くこの世の戦いを、イエスさまの確かな勝利の下で戦っていくことが出来るのです。

29日(火)

ヨハネによる福音書 16章 33節

これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

イエスさまは、勝利を宣言されます。この御言葉を語られたのは、イエスさまが十字架に架かれる直前です。この後、イエスさまは裏切られ、逮捕され、十字架に架けられます。それはまるで敗北されたかのようなお姿でした。しかし、イエスさまは御自分を死に引き渡されることによって、わたしたちの罪を贖い、そして三日後に父なる神によって復活させられ、悪にも、罪にも、死にも打ち勝って下さるのです。今や、わたしたちの歩みは、この主イエスの勝利のもとにあります。終わりの日まで、わたしたちには世で苦難があります。しかし、勝利の主が、わたしたちと共におられます。

30日(水)

コリントの信徒への手紙一 6章 19節

知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。

イエスさまに救われた者は、イエスさまに所有される者となります。わたしたちはもはや自分自身のものではなく、神さまのものとされています。神さまはわたしたちをお造りになり、贖って下さり、聖霊をお遣わし下さいました。神さまと共に生きるわたしたち、神さまのものであるわたしたちは、自分のためではなく、主のために生きる者となるのです。

31日(木)

コロサイの信徒への手紙 3章 16節

キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。

わたしたちの口の言葉は、わたしたちの心の内にあるものが出来て来ます。心の中心に自分がいるならば、自分の利益になる言葉、自分を守るための言葉、そのために相手を傷つけたり、軽んじたりする言葉が出て来ます。しかし、わたしたちの内にキリストが宿って下さるならば、わたしたちはキリストの言葉を語る者とされます。相手を生かすための知恵と諭しの言葉、神さまにささげる詩編と賛歌と霊的な歌、感謝して心から神さまをほめたたえる言葉です。キリストの言葉が、わたしたちの内に豊かに宿って下さいますように。

1月1日(金)

出エジプト記 29章 45~46節

また、わたしはイスラエルの人々のただ中に宿り、彼らの神となる。彼らは、わたしが彼らの神、主であることを、すなわち彼らのただ中に宿るために、わたしが彼らをエジプトの国から導き出したものであることを知る。わたしは彼らの神、主である。

次の主日礼拝の御言葉です。主がわたしたちのただ中に宿って下さるので、わたしたちは平安でいることが出来ます。神が、わたしたちの主人でいて下さるので、わたしたちは神さまのものとして、神さまに守られ、導かれて、歩んで行くことが出来るのです。

2日(土)

ルカによる福音書 11章 24~26節

「汚れた霊は、人から出て行くと、砂漠をうろつき、休む場所を探すが、見つからない。それで、『出て来たわが家に戻ろう』と言う。そして、戻ってみると、家は掃除をして、整えられていた。そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。」

明日の主日礼拝の御言葉です。わたしたちの心の家には、誰が住んでいるのでしょうか。わたし自身でしょうか。しかしわたしたちは自分の家を、汚れた霊から、自分で守り切ることが出来ません。わたしたちはあまりに弱いのです。わたしたちは、自分の心の家に、圧倒的に悪霊に勝利を収めることが出来る方をお迎えして、住んで頂かなければならないのです。